



12月18日、高浜町に申し入れ

## まともに応えない高浜町の課長 終わってチラシの各戸配布（私は漁港に）

今回、申し入れ当日、対応した高浜町の課長は「危険性のみを強調する姿勢は町民の安心を損なう恐れがある。適切ではない」と発言。いやいやそこ安全神話をばらま

くことじやないですか？あなたが安全神話をばらまくようになつたら住民の安全は誰が守るのですか？危険性を言わなければそれに対してもうかに安全対策を行つていくのかを関電に説明させるのがあなたの仕事であつて、どつちもどつちみたいなことでは住民の安全は守れません。

申し入れに行く際、Iさんが当日の毎日新聞のコピーを配つてくれました。高浜4号機で使用予定のMOX燃料集合体16体のうち8体が燃焼機通りに作れず、高コストになります。危険じやないですか？

老朽原発うごかすな！ニュース

第158号

発行・老朽原発うごかすな！  
実行委員会  
連絡先  
090-1965-7102

私は前回の申し入れの際に、能登半島地震で多くのモニタリングポストが正常に機能しなくなつたことで、高浜原発のモニタリングポストは地震があつても大丈夫なのかと質問しました。私の記憶が正しければモニタリングポストの管理は福井県と関電であつて高浜町は関係ないと回答だつたと記憶します。

今回は、過酷事故が起つた時の高浜町の職員のための防護服は何着準備しているのかと質問しましたが回答はありませんでした。高浜町の予算のことであり執行済みだと思います。過酷事故で「街頭×必要日数」ぐらいの計算を出なればならない職員数についても回答できそうですが回答がない、ありませんでした。そもそも論ではありませんが、私の営利企業である関電が起こした事故（過失であれ）を何で自治体の予算

12月18日、高浜町に申し入れ

## あまりにも酷い担当課長の対応に 参加者が口々に怒りの抗議

12月18日、高浜町への申入れ（「11・30原発つづけるための乾式貯蔵NO！全国集会@高浜」において会場一致で承認されたもの）を行つた。

会議室に実行委員会の参加者10名と報道機関の2名が招き入れられ、まず、申入れ書を読み上げた。その後参加

者から一言ずつ申し上げたいといったところ、「ちょっと待つてください。その前に私から一言。」と担当の防災安全課課長が切り出したのは、全課課長が切り出したのは、「11月30日、集会後のデモや、押しかけた街宣車の過激な行動に、住民から苦情が出ていた。特に子どもがおびえていた。このような過激な行動は控えてほしい。」と私たちに言い放つた。（この課長、以前の申入れの際も、同じことを言つていた。）

これを受けて、参加者のほとんど全員が、この課長の発言は看過できないと抗議した。抗議を受けて、一応「表現が間違つていたかもしれない」と発言を撤回したが。そのす

（私たちの税金）で負担しないとダメなんでしょうか？申し入れののち、参加者でチラシの各戸配布に向かいました。私は音海展望台の対岸の神野浦という漁港に行きました。途中それほど離れていないところにモニタリングポストが2つありました。これほど近くで意味があるのかと思いました。（城陽市 山口孝雄）

り動かないのかと突き付けた。なぜ、その民意を汲み取るのが自治体の責務であるはず。なぜ、その民意を汲み取るものが自治体の責務であるはず。

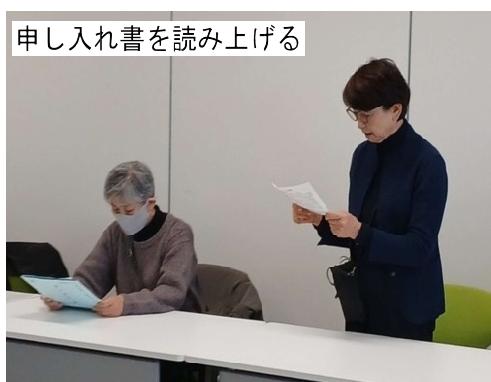
（老朽原発うごかすな！）  
実行委員会

H

と奢めた。

10年以上、高浜町などではチラシを各戸配布しながら住民の声を聞いてきた私たちは、「原発は怖い」「特に老朽原発だけはやめてほしい」それが民意であることをよく知っている。住民の命と財産を守るのが自治体の責務であるは

り動かないのかと突き付けた。なぜ、その民意を汲み取るものが自治体の責務であるはず。なぜ、その民意を汲み取るものが自治体の責務であるはず。



が、課長の胸には届いていない。「老朽原発についてどう考えているのか」

「まだこの先20年後も原発がある」と思つて

いるか」などを質問したが、彼は

たが、彼は

答えなかつた。

「これから、どんどん増えていくだろう右翼の妨害にも、このような表現の自由に反する行為だと」

自治体の言動にも、屈ることなく、私たちは行動を進めていきます。



H

年  
1  
0  
0  
2  
3  
3  
5  
年  
後  
に  
燃  
料  
1  
ル  
が  
満  
杯  
に  
な  
る  
関  
電  
は、  
2  
は、  
2  
0  
2  
3  
年  
1  
0

以下、申し入れ書の結論部分を紹介します。

【1】高浜町は、東電福島原発事故、能登半島地震を目の当たりにした今、「方が一にも過酷事故を起こしてはならない原発の運転が無謀、理不尽であること」を再認

識して下さい。

【4】高浜町は、一刻も早く原発と決別し、核燃料、化石燃料を使わない「人の命と尊厳を大切にす

る未来」を見据えたまちづくりを進めて下さい。

2025年11月30日  
「原発つづけるための乾式貯蔵N  
O！全国集会@高浜」

参加者一同

## 11・30集会で高浜町への申し入れ書を決議 12月8日、申し入れをしました

月、いかにも近々  
使用済み核燃料の  
再処理工場への  
搬出が可能で

あるかのよう

見せかけた「使用済み核燃料の県外搬出に関するロードマップ」を発表し、「搬出の円滑化のために原発構内に乾式貯蔵施設の設置する」としました。しかし、再処理工場の完成は頓挫しています。一方、関電は今までに、乾式貯蔵施設がないにも拘らず、使用済み核燃料を搬出しています。乾式貯蔵施設はなくとも、使用済み核燃料の搬出は可能なのです。乾式貯蔵施設の建設は、燃料プールに空きを作つて、原発の運転継続を可能にしようとする関電の策略であることは明らかです。

また、同集会では、関電が画策する使用済み核燃料の「乾式貯蔵」は、原発運転継続のための策謀でありますとの観点から、原発依存の町政を進める高浜町長に下記の申し入れを行うことを決定し、12月18日に申し入れました。

なお、35年後に燃料1ルが満杯になる関電は、行進を進めていきます。

【2】高浜町は、危険極まりなく、行き場もない使用済み核燃料の発生源・原発に依存する町政を改め、再処理工場の完成が27回も延期され、完成の目途も立たず、関電提出の「使用済み核燃料搬出ロードマップ」がことごとく破綻した今、度重ねた約束「運転開始後50年を超えた超老朽原発・高浜1、2号機、もうすぐ50年超えの美浜3号機の停止」の即時履行を求めて下さい。また、トラブル続発の4号機の即時廃炉を求めて下さい。

【3】高浜町は、全ての原発を停止させ、その後、今まで蓄積した使用済み核燃料の処理、処分、保管に関して真剣かつ広範な議論を開始して下さい。

【4】高浜町は、一刻も早く原発と決別し、核燃料、化石燃料を使わない「人の命と尊厳を大切にす